

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2017年11月9日
【会社名】	株式会社富士通ビー・エス・シー
【英訳名】	FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小島 基
【本店の所在の場所】	東京都港区台場二丁目3番1号
【電話番号】	03(3570)4111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営企画室長 仲田 孝司
【最寄りの連絡場所】	東京都港区台場二丁目3番1号
【電話番号】	03(3570)4111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営企画室長 仲田 孝司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社および当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号および第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

2017年10月26日（当社取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は、2017年10月26日開催の取締役会において、富士通株式会社を株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」という。）を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。

本株式交換については、同年12月19日に開催予定の当社の臨時株主総会決議を経て、2018年2月1日を本株式交換の効力発生日として行う予定です。

この場合、富士通株式会社を連結納税親会社とする連結納税制度の適用を受けることから、当社の繰延税金資産の回収可能性の判断に変更が生じ、法人税等調整額が減少し、当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益が増加することになります。

(3) 当該事象の損益および連結損益に与える影響額

2018年3月期の個別決算において、繰延税金資産を760百万円計上し、法人税等調整額が同額減少、当期純利益が同額増加することになります。

2018年3月期の連結決算において、繰延税金資産を760百万円計上し、法人税等調整額が同額減少、親会社株主に帰属する当期純利益が同額増加することになります。

以 上